

WSC 会員へ 「保険への加入は必須」です

WSC では、万が一に備えて保険に加入することを強くお勧めします。旅行、滞在などいろいろと WSC の会員は活動していますが、ご自身のこと、ご家族のこと、関係する方々のことなどを視野にいれて、適切な保険に加入されることを強くお願いします。今回は旅行保険に関する考え方を紹介します。

この件は、WSC における特命プロジェクトとして、この方面に詳しい田中嘉文副理事長が担当しています。

無駄と思うな！ 旅行保険

「旅にトラブルはつきもの」とよく言われますが、「自分だけは大丈夫」と高をくくって旅行保険に加入しない人がいます。しかし、旅行地域は地球全土に広がり、行動もどんどん多様化して、事故や災害の危険度が増していますから、旅行保険の重要性は日に日に高まっているといえるでしょう。

一方、保険に加入する人でも、自分が被害者になることだけを考え、加害者になる可能性を忘れる人もいます。おさらいの意味で、もう一度旅行保険について要点をまとめておきましょう。

1. 補償内容と必要性をよく考えて

何処へ行くにもいつも同じタイプでよしとする人も多くいますが、私たちシニア世代は年齢的な特性も考慮のうえ、旅行目的、場所、期間、利用交通機関などに合わせた保険を選ぶことが大切です。

★一般的観光旅行の場合

・傷害死亡や疾病死亡よりも、治療・救援費用に重点を置くこと

死亡保険は生命保険で対応できますから、旅行保険は怪我や病気に対する備えがより重要です。救援費用とは家族が現地へ赴き、看病など救援するための費用で、いざというときには必ず必要になりますから多めのほうが安心です。

・賠償責任は最大限に

自分の過失で他人や施設に損害を与えてしまうと、日本では考えられないような多額の補償を要求されますから、賠償責任は最大の1億円をかけておきましょう。

実際には、予め補償項目と保険金額がパックされたセット・プランを選ぶより、補償項目別に必要性和保険金額を自由に選ぶフリー・プランのほうが合理的で、経済的といえます。

★語学研修や日本語ボランティアなどロングステイの場合

WSC の語学研修や日本語ボランティアに参加

する場合は、滞在期間が長いだけでなく、行動パターンが一般的ロングステイとはまた違います。宿泊先が寮やアパート、ホームステイなど、普通のホテルとは異なる事情などから、補償内容も実用的にアレンジされた「留学生プラン」「アパート利用プラン」などを選ぶようお勧めします。

2. カードの自動付帯保険では不十分

クレジットカードには自動的に旅行保険がついているから任意保険は不要、と解釈している人が少なくありません。カード付帯保険は、疾病による死亡は対象になりません。飛行機が遅れたり、預けた荷物が遅れたりした場合の損害も含まれません。また、カード会社によっては、航空券やパッキングツアーをカードで購入しないと保険の対象にしないものもあります。こうした細かい条件をよく確認することが大切です。

3. 「現地サービス」は絶対必要

旅行保険には、「日本語アシスタンス」という貴重なサービスがあります。保険そのものは災難現場ですぐに役立つものではありませんが、このサービスは、イザその場で絶対に必要なものです。病気やケガの窮状を、一刻も早く医療機関に通報して医師に診てもらいたいとき「日本語アシスタンス」に電話をすると、24時間いつでも日本語でサポートしてくれます。症状を詳しく聞き取り、適切な応急処置の方法を教えてください。さらに病院探しに救急車の手配、医師との通訳、日本の家族への連絡、最後は保険金の請求手続きのヘルプまでしてくれます。

クレジットカードには緊急時以外でもいろいろなヘルプをしてくれる「海外アシスタンス・サービス」があります。この二つがあると鬼に金棒でしょう。

本当に旅にはトラブルがつきものです。保険でトラブルを防ぐことはできませんが、トラブル後のトラブルを軽減することはできます。旅行保険とクレジットカードは必ず加入しましょう。

以上